

### 第3回市民・スポーツ文化局指定管理者審査選定委員会 会議録

- 1 日時 平成25年10月24日(木) 13時00分～17時35分
- 2 会場 議会棟2階第4委員会室
- 3 出席者 (委員) 和田委員長、三ツ木委員、川島委員、近藤委員、牧野委員  
(所管課) 市民総務課、スポーツ振興課  
(事務局) 市民総務課

#### 4 議題と審査結果

指定管理者候補者を以下のとおり決定した。

##### (1) スポーツ振興課所管施設

- ・浦和駒場体育館 「埼玉シミズ・浦和スポーツクラブJV」
- ・与野体育館 「住友不動産建物サービス・住友不動産エスフォルタ・毎日興業共同事業体」
- ・浦和西体育館 「埼玉シミズ・レッズランドJV」

##### (2) 市民総務課所管施設

- ・大宮ソニック市民ホール 「公益財団法人埼玉県産業文化センター」

#### 5 議事要旨

##### (1) 浦和駒場体育館の指定管理者候補者について

公募により選考を行った結果、1つの団体から応募があった。提出された事業計画書等に基づき、応募団体によるプレゼンテーション及び各委員からの質疑等を行った後、応募団体を指定管理者の候補者とするかについて審査を行った。

##### 【質疑等】

- ・A団体への質疑応答
- Q エコ体育館事業を推進するということで、太陽光パネルの導入も計画に含まれているが、収支計画ではどこに計上されているか。
- A リースの形式で導入するため、「使用料・賃借料」の項目に計上している。目安としては、太陽光パネルの導入により、柔道場の空調と事務所の電気量を賄えると考えている。公共施設ということで、エコの観点からも導入したいと考えている。
- Q LED化も行うのか。
- A 駐車場とメインアリーナについては、それぞれの設置箇所及び目的の特性に見合うL

EDが現在のところ存在しないため未設置となっているが、新しい商品で各箇所に見合うものが出てくれば設置する。

Q 委託費はどのように使っているのか。警備等も含まれるのか。

A 清掃関係及び設備保守関係に使っている。機械警備を行っているので、警備に係る費用は含まれていない。

Q 人員配置によると、常に館長と副館長の片方しかいないように見えるが、その割には人件費が高いのではないか。

A 週休2日制をとっているため、館長か副館長のどちらか1人だけいるということが多くなるが、細かい修繕は館長自身が行うなど、管理体制はしっかりと保たれている。

Q さいたま市には柔道場や剣道場が少ないという話を聞くことがあるが、それらの施設の稼働率ほどの程度なのか。

A 稼働率はかなり低い。柔道場については、畳が固いせいで利用できないという意見が多い。剣道場については、今夏まで空調がなかったために利用を敬遠されていたが、空調導入後は稼働率が上がっている。

Q 広報計画の中で、これ以上の広報は必要ないと書かれているが。

A アリーナや第1、第2体育室などについては、稼働率が90%を超えているため、これ以上の広報を行うと現在の利用者間での競争率が高くなり、苦情等が発生する恐れがあると考えている。また、地域の体育館として、口コミの力も大きい。

Q 計画書の中で、アリーナやトレーニング室等の増収は難しいとあるが。

A トレーニング室などは2時間100円をご利用いただいているため、仮に利用者が100人増えてもあまり増収は見込めないといった事情がある。料金の改定ができればいいという考えもある。

Q 省エネに取り組んで、浮いたお金は修繕費に充てるとのことだが、収支計画の修繕費にはその分の金額は計上されていないのか。

A 現在の収支計画には、その分の修繕費は含まれていない。あくまでも省エネによってお金が余ったら、余った分を修繕に回すという考え方。

## 【結果】

市民・スポーツ文化局の指定管理者審査選定委員会において浦和駒場体育館の候補者を審査した結果、現指定管理者の応募団体に実績評価点を加算しない点数で、埼玉シミズ・

浦和スポーツクラブJ Vが724点となり、最低制限基準である60%を超えていた。そして、現指定管理者の実績評価点を加算した結果、同団体が749点となり、100点換算で74.9点を得たため、埼玉シミズ・浦和スポーツクラブJ Vを指定管理者の候補者として決定した。

(2) 与野体育館の指定管理者候補者について

公募により選考を行った結果、1つの団体から応募があった。提出された事業計画書等に基づき、応募団体によるプレゼンテーション及び各委員からの質疑等を行った後、応募団体を指定管理者の候補者とするかについて審査を行った。

【質疑等】

・ A団体への質疑応答

Q 収支計画で収益の約半分程度を修繕費に充当することだが、収益が予想よりも落ち込んだ場合には修繕が行われないということか。

A 我々は与野体育館の指定管理者を継続で行っており、中でもスポーツ教室等の収益がメインとなっている。今後も引き続き行うことから、来年度以降も安定した収益が見込めると考えている。

Q 過去4年の実績で、利用率や利用人数等は伸びているにも関わらず利用料収入が減少しているのはなぜか。

A 利用料の減免を伴う事業等を行うこともあるので、そういった兼ね合いで利用料金のみ減少したと考えられる。また、体育館の1回の利用で、100人入館するか20人入館するかという違いもあるので、利用率と利用料金収入は必ずしもリンクしない。

Q 物販収入が好調とのことだが、今後も貴団体の収入源として拡大できると考えているのか。

A 安くて良い商品を販売しているので、今後新しい商材を見つけられれば、まだ少しは伸びる可能性がある。

Q 現在60件行っているスポーツ教室等を、68件まで増やすということだが、具体的にはどのような講座か。

A 現在は大人向けの教室が多いが、最近始めた親子向けの教室、特に親と赤ちゃんとの教室が好評を博しているため、そういった教室を増やしていきたい。

Q 運営体制の計画によると常勤職員が2人しかいないようだが、人数的に問題はないのか。

A 常勤職員のどちらか片方は常に現場におり、それ以外にもう1人受付の職員がいるという体制となっているため、人員不足等の問題はないと考えている。

Q 高齢者の雇用にも積極的に努めるとのことだが、どのように行うのか。

A 現在も50～60歳の職員を雇用しているが、新規で採用する場合にはシルバー人材センターに声をかけるなどして対応したい。

Q 券売機の設置経緯について。

A 利用者からの領収書を発行してほしいという声や、小口の現金に対する防犯上の観点から設置した。

### 【結果】

市民・スポーツ文化局の指定管理者審査選定委員会において与野体育館の候補者を審査した結果、現指定管理者の応募団体に実績評価点を加算しない点数で、住友不動産建物サービス・住友不動産エスフォルタ・毎日興業共同事業体が764点となり、最低制限基準である60%を超えていた。そして、現指定管理者の実績評価点を加算した結果、同団体が789点となり、100点換算で78.9点を得たため、住友不動産建物サービス・住友不動産エスフォルタ・毎日興業共同事業体を指定管理者の候補者として決定した。

### (3) 浦和西体育館の指定管理者候補者について

公募により選考を行った結果、1つの団体から応募があった。提出された事業計画書等に基づき、応募団体によるプレゼンテーション及び各委員からの質疑等を行った後、応募団体を指定管理者の候補者とするかについて審査を行った。

### 【質疑等】

・ A団体への質疑応答

Q 各施設の利用率のうち、リピーターが9割を超えるとのことだが、スポーツ施策という観点から考えると、固定客ばかりというのはいかがなものか。

A 利用に関しては、さいたま市の公共施設予約システムで管理されてしまっているのが我々で自由にできる部分が少ない。年少者に対するサッカー教室や、主婦層を狙ったヨガ教室を展開することで新たな利用者の開拓につなげている。また、地域の総合型スポーツクラブと連携して、体育館に収まらない利用者をクラブで受け入れるといった案も挙がっている。

Q 利用者アンケートでは9割の方から高評価をいただいているとのことだが、逆に低い評価を下した利用者の意見はどのようなものがあるのか。

A 施設の古さに関する苦情が中心。

Q 浦和駒場体育館と浦和西体育館とが、同じ管理者目線から交互の巡察を行うことで相乗効果が得られると感じるがいかがか。

A 利用者の交流という面に関しては、合同バレーボール大会を行うなどして、少しずつ始まっている。運営側でも、お互いの欠点を指摘できるような環境をつくってほしいと思う。

Q 浦和西体育館の近くに埼玉大学があり、学生たちが利用者の一翼を担っているという話はよくわかるが、逆に学生たちを講師として活用するという考えはあるか。

A 我々でもっている総合型地域スポーツクラブでは、埼玉大学の講師や学生等を、クラブの講師として招いており、浦和西体育館でもそういったことを進めていきたい。

Q 照明を3分の2に落として省エネを図っているとのことだが、利用者から苦情はないのか。

A 照明を落とす際には利用者の了解を得てからにしており、利用していない施設の照明を落とすことで対応しているため、そういった苦情はない。

Q 人件費を年1%ずつ上げるとのことだが、業績評価等に基づいて行われるのか。

A 構成団体から出向してきた職員がほとんどなので、業績評価等も各職員が所属している構成団体で行っている。

Q 補助金を活用しての太陽光パネルや駐車場内の電気ステーション設置について、どういった補助金を使ってどのような設備を設置するのか、具体的に聞きたい。

A 太陽光パネルはリースによって実現したい。電気ステーションは、さいたま市の施策に協調して設置できればと考えている。いずれの設備も、補助金を活用できなくても設置する方向で検討している。

#### 【結果】

市民・スポーツ文化局の指定管理者審査選定委員会において浦和西体育館の候補者を審査した結果、現指定管理者の応募団体に実績評価点を加算しない点数で、埼玉シミズ・レッズランドJVが717点となり、最低制限基準である60%を超えていた。そして、現指定管理者の実績評価点を加算した結果、同団体が742点となり、100点換算で74.2点を得たため、埼玉シミズ・レッズランドJVを指定管理者の候補者として決定した。

(4) 大宮ソニック市民ホールの指定管理者候補者について

非公募により選考を行い、1つの団体から申請を受けた。提出された事業計画書等に基づき、申請団体によるプレゼンテーション及び各委員からの質疑等を行った後、申請団体を指定管理者の候補者とするかについて審査を行った。

【質疑等】

・申請団体への質疑応答

Q これまでの実績を示す資料の中で、日数稼働率と実質稼働率はどう違うのか。

A 市民ホールの利用については午前、午後、夜間の3区分に分かれているため、夜間だけの利用があった日は、日数稼働率としては100%だが実質稼働率は33%ということになる。

Q 実質稼働率が66%程度ということは、平均して午前、午後、夜間のうち2つの区分が利用されているということか。

A 利用者の希望する機の配置等も職員が行っているため、各時間帯の合間の1時間にそれらを変更することは事実上不可能。また、祭事内容によっては、マイク等を使用して会場内がかなりうるさくなり、隣の部屋に音が漏れてしまうときもあるが、そういった場合には4部屋のうち2部屋が空いていたとしても、貸し出さないこともある。以上のような事情により、実質稼働率が66%という数字になっている。

Q 一般市民には多少敷居が高い施設だと感じられるが、あくまでもコンベンション施設の一部という方向性で今後も運営していくのか。

A 実際は、市民の利用が6~7割となっており、地元の書道教室や手芸サークル等にも利用していただいている。事前予約で希望が重なる場合もあるので、抽選を行い公平性を保っている。また、コンベンションの受け入れについては、全体の5割以下に抑えるようにしている。

Q これまでの広報活動で一番効果的だったものは何か。

A 25年前の開設当時から培ってきた使い勝手の良さや、立地の良さなどが口コミで広がってきたのが大きいと思う。

Q 東日本大震災の際には、帰宅困難者の受け入れ等を行っていただいたとのことだが、その時の対応はどのようなものだったのか。

A 大ホールや国際会議室の天井を確認し、問題がないと思われる部屋に約1,000名の帰宅困難者を受け入れた。パレスホテルからは水や毛布等が配られた。

Q 利用者の意見はどのように吸い上げているのか。また、どのような苦情があったか。

A 年に2回、期日を決めてアンケートを行っている。使い勝手や利用料金、職員の対応などについてのアンケートや、フリーの記入欄等を設けている。

苦情については、講演台が古すぎる、プロジェクターが暗すぎる、といったものがあったが、すぐに対応して解決しており、現在苦情はほとんど受けていない。

Q 大宮ソニックシティ付近は鳥の数が多いが、対策は。

A 地域住民や利用者の方々からのそういったご意見は数年前からいただいていたため、街路樹の枝をほとんど切ってしまった。それ以来鳥の数は減っている。

Q 市民ホールと会議室の利用率がほぼ同じになっているが、受付の時点で割り振りを行い調整しているのか。

A 市民ホールの方が天井が高く、利用料金も安いので、会議室よりも人気がある。市民ホールの予約が埋まった後に会議室の予約が埋まっていき、結果的に偶然利用率が同じになった。

Q イベント業務管理士とは、どのようなことを行っているのか。

A イベント業務管理士は1年間かけて取得している資格で、イベントの企画や施設の維持管理などすべてに対応できるものとなっている。イベントの受け付けから終了まで、様々な面から主催者様に有益なご提案ができる能力を備えており、当財団では9割近くの職員が取得している。

#### 【結果】

市民・スポーツ文化局の指定管理者審査選定委員会において大宮ソニック市民ホールの候補者を審査した結果、現指定管理者の応募団体に実績評価点を加算しない点数で、公益財団法人埼玉県産業文化センターが820点となり、最低制限基準である60%を超えていた。そして、現指定管理者の実績評価点を加算した結果、同団体が845点となり、100点換算で84.5点を得たため、公益財団法人埼玉県産業文化センターを指定管理者の候補者として決定した。